

2022年度 神戸大学 前期 国語

—

問一

伝統的な儒教や仏教とまったく異なる新しい観念の世界が広がっている西洋哲学の受容には、従来の一般的で抽象的な言葉と概念とは異なる特殊な語彙が求められたということ。(80字)

問二

西洋哲学の用語が日本語の一部として確立し、意味を正確に理解せずとも使えるために、人はその用語で西洋哲学の原語を置き換えるだけで理解したと錯覚しているだけだから。(80字)

問三

日本語の哲学の文章から抽象名詞が減ったのは、哲学用語の使用法を意識し、哲学は日常語に近い言葉で議論する、普通の人のためのものでもあるという認識によるということ。(80字)

問四

日本の近代文学は、日本語で書かれた国民文学に適した文学言語を作り出せた現在、英語のグローバル化による独占的優位を背景に、将来の存在意義が危惧される。同様に、日本の哲学においても、普通人にも通じる平易な日本語の哲学言語が熟した現在、共通言語として英語を採用する哲学の国際化を背景に、将来の存在意義が危惧されるということ。(160字)

問五

- a 変貌 b 芝居 c 漠然 d 完璧 e 膨大(彪大・尫大)

問一 ① このように私と親しくしてくれるな

② 仏道に熱心でいらっしゃって

③ 笛の音と声を聞いて男がそこにいるようだとは聞くけれども

問二 恋をするまいと祈った甲斐もなく女への恋しさが募るので、神は私の祈願を受けてくれなかったと嘆く心情。(49字)

問三 優れた帝に心から伺候できずに、つまらない男に心引かれる宿縁の悪さが悲しいから。(39字)

問四 女の所にむなしく通っては逢えずに帰ってきてしまうのに、また逢いたい気持ちに誘われては行ってしまう。

問五 在原

問六 b な c に d ぬ

問一 ① まさにしせんとするを

② やみなん

(やんぬるかな)

問二 (a) ろうやの番人は左光門を救い出そうとする史可法の熱意に打たれた。

(b) 牢獄をどのような場所だと思っているのか、

問三 左光門を救い出そうとすれば、その後を継いで腐敗を正すべき史可法まで無実の罪に陥れられてしまうから。(49字)

問四 左光門が、拷問を受けて死に瀕していても、国家の腐敗を正すべきだという固い信念を持ち続けたということ。(50字)